



弁護士最速を目指して ～ Road To Fukuoka ～

会員 小池 孝範 (63期)

今回は、私がFacebookで趣味のマラソンに関することを投稿していたことをきっかけに、当欄の執筆のお話をいただいた。

私は、高校時代陸上部に所属しており（専門は中距離800m）、もともと走ることは好きだった。しかし、大学進学後はほとんど走らなくなり、年齢とともに着実に体重が増えていった。特に弁護士になってからは体重がみるみる増加し、2011年12月には70キロに迫る数値となった。

そこで、2012年からダイエット目的で走り始めた。しかし、ただ漫然と走るのは退屈で習慣にならず、なかなか痩せなかった。転機になったのは、2014年の東京マラソンに当選をしたことだ。当時はフルマラソンを走ることなど考えていなかったが、約10倍の倍率である東京マラソンに当選をしたことで、一気にランニング熱に火が付いた。それからは継続的に走るようになり、結果として10キロ近くの減量に成功した。

そして、初マラソンの東京マラソンは2時間58分25秒で完走し、3時間切り、いわゆる「サブスリー」を達成することができた。マラソンランナーにとって、サブスリーは一つの壁として語られる目標であるため、まさか初マラソンでサブスリーを達成できるとは思っておらず、我ながら驚いた。周りからの祝福も、司法試験に合格した時以上だったように思う。



東京マラソンで走る楽しさを思い出してからは、純粋に記録を求めて走るようになった。だいたい週4回ほど走っており、平日は出勤前に自宅近くの公園の周りを走り、練習時間を確保している。旅先にもランニンググッズを持参して走り、普段と違う景色を走る楽しさを味わっている。まさにランニング中心の生活となった。

ランニングをしていて一番良かったことは、多くのランニング仲間ができたことである。その中でも特に、弁護士、司法書士、公認会計士、税理士、行政書士の先生方とは、「士業連合」というチームを作り、毎年、八王子夢街道駅伝や横浜駅伝などの駅伝大会に出場したり、夏には合宿を行ったりして親交を深めている。今年は八ヶ岳で合宿をし、2日間で70キロ近くを走りこんだ。

これまで走ったフルマラソンは6回。自己ベストは、今年2月の別府大分毎日マラソンで出した2時間43分24秒である。この記録で、毎年5月に発表される全日本マラソンランキングにおいて、35歳の部で98位になり、目標だった100位以内に入ることができた。

今後の目標は2つある。1つは、おそらく弁護士最速である第二東京弁護士会所属の先生の記録（現在2時間37分47秒）を破ること。6分の差は大きい、なんとか背中を捕らえて弁護士最速の座を奪いたい。もう1つは、福岡国際マラソンに出場すること。こちらは

2時間35分を切らなければ出場できないため、さらに難しい。昨年までは2時間40分を切れば出場できたのだが、今年から出場資格が変更されてしまい、目標が遠のいてしまった。ただ、マラソンは40代、50代でも記録を伸ばせるスポーツであるため、気長に楽しみながら2つの目標を達成したい。どうやら、もうしばらくはランニング中心の生活を送ることになりそうである。